

“市民と議会との懇談会” 議会報告会を実施

～市政や議会に生の声～

○開催日:平成30年2月13日(火)～2月15日(木)
○会場:市内15会場(コミュニティ)

『議会報告会』は27会場(コミュニティ)のうち、昨年8月の12会場に引き続き、15会場を2月13日から3日間にわたり実施しました。15会場合わせて参加者数は157名を数え、前期開催時との合計は延べ330名となりました。会場で出た要望や意見などを一部掲載します。(回答や対応等は市ホームページに掲載しています)なお、平成30年度も、市政へつなぐ重要な意見交換の場として引き続き実施します。開催時期等は追ってお知らせいたします。

●総合花巻病院は診療科目を増やすとのことだが医師不足と聞いている。新病院は高度な医療や手術などが行えるものか。花巻温泉病院も閉鎖するなど花巻の将来が不安だ。また、大迫は遠野医療圏域であり不便だ。

●若葉小学校は児童が600人もいるが年々学童クラブへの加入が増えている。受け皿の学童クラブが定員を超えているが？

●新興製作所跡地のガレキは景観的に問題。花巻城史跡でもあり商業施設としての利用はそぐわない。議会から再度、市側に何らかの活用を提案してもらえないか。

●国では農業法人を増やす施策を進めているが、現存の農業法人では後継者難が

課題。原因は農業所得が低く、法人従業員の給料が安いことがあげられる。

●消防団員の確保、今後の組織再編の動きは？

●観光振興における通訳への対応は？

●地域おこし協力隊のメリットは？

●他県においては、TSUTAYA(ツタヤ)等が図書館の運営をしているところもあるようだが、新花巻図書館の運営に関しては、どのような方向で進んでいるのか？

●ひとり暮らし高齢者の日頃の安否等が心配。何か対策はないか。



●非正規雇用で働く若者は収入が不安定で、結婚はもとより子どもを持つなど不可能。行政が企業に対し雇用促進を働き掛けるよう議会でも取り組みを。

●産婦人科や耳鼻咽喉科などの医師不足が深刻だが、インターン制度を利用するなどの確保対策に対する考えは？

●花南地区から南インターへのアクセスとしての都市計画道路やスマートインターの計画は？

●学校図書館について支援員を増やすなど充実してほしい。学校図書館利用と学力向上が比例しているとの報告もある。

●少子高齢化のなかで、まちづくり事業に取り組んでいるが高齢化により施設入所等で空き家が増加しており、桜町一目だけで30戸の空き家が存在する。これらの対策としての予算状況は？

●林業の不振が続いているが、大迫地区は林業が盛んであり今後の林業振興をどう考えているか？

●大迫病院について、市民の医療を守ってほしい。

●ゴミは減量になっているか？

●地域づくりを行うコミュニティ会議の役割が大きくなっていくなかで、人口減少、高齢化により役員等が人材難になっているが、どの様に考えているか？

●介護予防・日常生活支援総合事業は昨年からの事業が始まった。要支援の登録者はまだないが、ボランティアを広報などで募集してもなかなか集まらないのが実情である。

●少子高齢化問題、空き家問題、農業の後継者問題などの課題に対応するため、特別委員会を設置して対応策等を研究し施策に生かす必要があるが、市の各種計画に対する課題と特別委員会の設置が結びついていないのではないか？

●東和で取り組んでいる農泊があるが、秋田県藤里町も取り組んでおり、活力ある町である。議員も視察に訪れてみては？

